

大竹小学校のみんなが、一人残らず不審者から無事避難することができるように訓練ができました。

645人のうち、不審者に襲われて死んだ人が1人だけでよかった、というわけにはいきません。これは、地震や火事の時も同じです。一人残らず全員が無事に避難できることを目標に避難訓練をしています。今日の訓練、真剣にできた人は手を挙げなさい。手を挙げた人は、もちろんにやにやしていませんでしたね。皆さんは、教室の出入口からできるだけ遠い場所に身を隠しました。1人で勝手にうろうろしてはいけません。不審者が怒ってみんなが犠牲になってしまうかもしれません。どこで不審者に出会っても、不審者から距離をとる、離れることが大事です。教室では、次に先生からどんなお話があるかわかりませんから、さらにすぐ動ける姿勢をしていたはずです。

でも、皆さんの中には「学校に入ってきて子供を襲うようなことは考えられない。家の近くでも、そんな危険な人はいない。」と思っている人も多いかもしれません。確かに、子供を連れ去ったり、子供を殺したりするような事件は、めったに起きるものではありません。実際、大竹小学校では、今まで一度もそんな事件は起こっていません。

学校に来られる方は、学校にちゃんとした用事があるから来られます。不審者ではありません。道をたずねてきた人がすべて不審者ではありません。不審者はあちこちにいるわけではありません。

だからといって、これから絶対に起こらないとは言えません。子供に対して犯罪を起こしてしまう人がいるのは事実です。たまに、ニュースでも見ること

があります。

地震や火事と同じです。「まさか」という時に、どのように自分の命を守るか、日頃から訓練しておく必要があります。

今から約24年前の平成13年の6月、大阪の池田小学校に、包丁を持った男が侵入しました。子供や先生を追いかけ回して命を奪った事件です。1年生と2年生の児童が8人亡くなり、15人の児童と先生が大けがをしました。

この事件がきっかけになって、不審者に対応する訓練や犯罪から身を守る訓練が学校で行われるようになりました。

皆さんの登下校の安全を守ってくださっている地域の見守り隊の方がいらっしゃいます。交通事故から子供を守るだけでなく、不審者から子供を守ることも考えてくださっています。今日も訓練でお世話になった大竹警察の方も同じです。「不審者が出ました。」ということ連絡すれば、すぐパトロールをしてくださっています。

では、改めて次の言葉を思い出してください。

「いかのおすし」です。これは小さいころから、何回も聞いている合言葉ですね。ただ、いざというとき、「いかのおすし」の「お」の「大声を出す」ことがなかなかできないことが多いそうなので、出せるように心構えをしておいてください。声が小さいなと思う人は日ごろから大きい声を出すように挑戦してください。ただし、相手をからかってははいけません。追いかけてられますよ。

「いかのおすし」の意味、今一度担任の先生と確認をしてください。